



日本一チャレンジする町

カラフルタウン 横瀬町

中心地の賑わいを広げ 活気あるまちを目指して

～乗ってラクラク、歩いて楽しい町づくり～

2023年8月22日

横瀬町 まち経営課

町田

横瀬町の紹介

横瀬町の概要



© 秩父地域おもてなし観光公社

場所	埼玉県西部、秩父盆地の東端に位置 東京から70km圏内
面積	49.49km ² うち40.35km ² は森林
人口	7,788人 (3,349世帯) (参考：役場職員93人)
産業	・ 武甲山から産出される石灰を扱う窯業 ・ 農林業 (特に観光農園業) など

※2023/8/1 時点

横瀬町の特徴

魅力的な自然豊かな里山風景と
歴史ある食・伝統・文化が息づくまち



横瀬町の現状(これまで)

中心地の賑わいの状況づくりの経緯

横瀬町とコラボする研究所
よこらぼ

2016年から約220件の提案に対し、
130件を超える
プロジェクトを採択！！



官民連携事業と観光で



町内遊休資産や町主要部の施設を活用
した**拠点づくり**を実施



関係人口・交流人口と地域住民とが
多様に関わることのできる **Colorful Town** に近づいた
カラフルタウン



中心地に賑わいが生まれている

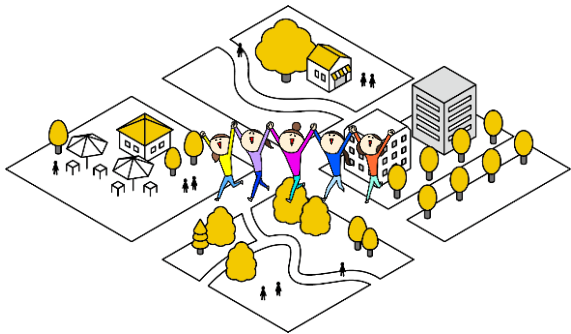


横瀬町の目指す姿(これから)

中心地の賑わいをまち全域に広げたい

これまでは・・・

さまざまな整備により、
中心地に人が集まる場所
になってきた



これからは・・・

中心地の賑わいを**まち全域**に広げてい
きたい



横瀬町の目指す姿

「中心地⇄町内の様々な場所」で、人と活気が、相互に行き来する町



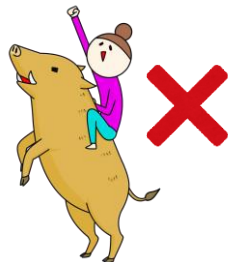
目指すための第一歩

目指すための第一歩

人の流れを作って賑わいを広げていきたい！

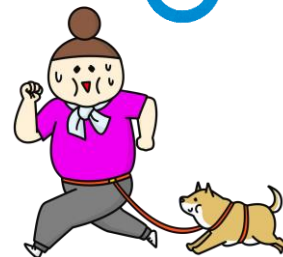
二次交通の整備

誰でもカンタンに移動出来るまちに



ウォーキングの促進

誰でもたのしく歩けるまちに



二次交通の目指す姿（理想）

「誰でもどこでも移動しやすい町」

○年齢や町内外など、関係なく、「誰でも」「気軽に」「町内のどこでも」利用が出来る交通手段が整備されている

○それぞれの世代や属性に応じ、適した交通手段が隙間なく整備されている

ウォーキングの目指す姿（理想）

「日本一歩きたくなる町」

○観光客からも住民からも「横瀬って歩いていて楽しいね」と思える町

○普段歩かない人、歩くのがそれほど好きでもない人も、歩いてみようと思える町

○常に町中を人が周遊している町

横瀬町に来る人のために

- | | |
|------------|--|
| 名前 | 都心 来太郎（25） |
| 世帯 | 家族と同居 |
| 仕事 | 都内のオフィス勤務 |
| 生活 | 休日の日帰り旅行が趣味。
徒歩圏内で生活の全てが完結している
ので、車の免許はもっていない。 |
| いまの
気持ち | 電車で横瀬町に行ってみたいと思っ
てはいるが、行ってみたい場所が遠
い。ただ歩いて行くだけではつまら
ないし… |



横瀬町に住む人のために

名前	横瀬 太郎（65）
世帯	妻と同居
仕事	定年退職済み
生活	仕事を退職し、悠々自適な生活。体を動かす機会がめっきり減ってしまったので、何か運動の趣味でも持ちたいと思っている。
いまの気持ち	気軽に町中を歩いて運動したいけれど、60年以上住んだ町で、目新しさもないし、何かモチベーションに繋がるものでもあればいいのに…



横瀬町の過去～現在の取組み

二次交通の取組み（～現在まで）

- 観光客向けに、秩父地域のステーション間で乗り捨てが可能なレンタサイクル事業を開始
(横瀬町内では、芦ヶ久保駅前観光案内所とエリア898)
- 秩父市と連携し、
西武鉄道と共に観光型MaaSアプリ「のってみ秩父」を開始
- コミュニティバスの運行を終了し、AI配車によるドアtoドアの
デマンドタクシーを運行

二次交通の現状

- レンタサイクル事業を実施しているが、設置場所の少なさや、乗り捨てができないことなどから、利便性に乏しい
⇒なかなか利用者が伸びない（月平均利用：約8.6台）
- 中山間地ゆえの勾配の多さから、自転車だけでは利用者に限りがある
- レンタサイクル以外の二次交通が整備されていない
- 幹線上に通る観光バスは2時間に1～2本



観光バス時刻表

横瀬駅入口		
<Y>	松林（長洲・横古瀬）西武秩父駅行	<Y>
<Y>	長洲（横古瀬）西武秩父駅行	横古瀬～西武秩父駅行
08	平日	土曜・日曜日
09		
06		
07	56	
08		
09	38	33
10		
11	26	32
12		
13	32	
14		12
15	21	
16		43
17	03	
18	06	
19		
20		
21		
22		
23		
00		
01		
02		

2023年3月18日 改正

ウォーキングの取組み（～現在まで）

- 豊かな自然と、歴史ある文化遺産、お寺等が町内に点在
- 住民が自宅の庭を観光客向けに開放する「オープンガーデン」
- 令和3年度より、「日本一歩きたくなる町プロジェクト」として本格的にウォーキングに関するプロジェクトを始動
- ウォーキングコースの整備
- 様々な関連イベントを開催



ウォーキングの現状

- イベント頼りのウォーキングが多く、持続性がない
- ウォーキングが町内飲食店などの消費拡大に結びつかない
- 来町者（特に若者）向けのウォーキングの魅力が弱い
- 車社会であり、住民が歩いて移動することも少ない

参加費 無料
水柱ウォーキング教室
1月15日



横瀬町の課題

横瀬町が抱える課題①

町の中心地に賑わいが生まれてはいるが、観光施設や飲食店などは町内に点在しており、**その賑わいが地域に広がっていかない。**



○二次交通の課題

誰でも、気軽に、便利に使える二次交通がない

- 特に観光客などの来訪者が気軽に利用できる手段が乏しい
- ⇒点在する観光スポットなどへの導線がない

○ウォーキングの課題

つい、歩いてみたくなる魅力が弱い

- 持続可能なウォーキングのインセンティブが少ない

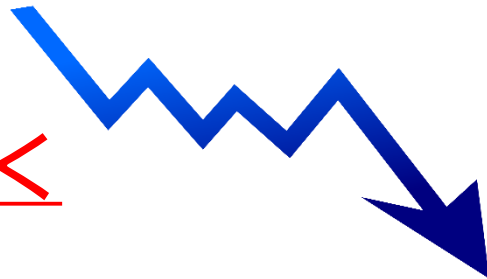


横瀬町が抱える課題②

【このままでは…】

- 中心地以外のまちなかの**活力衰退**
⇒ 中心地付近の店舗・施設以外誰もいない
- 観光コンテンツの**魅力低下**
⇒ 来訪者が減ることによる施設等の閉鎖や管理不足

◎町全体の魅力が
どんどん損なわれていく



ご提案いただききたい事

目指すための第一歩の力添えとして

【二次交通】

- 町の特徴に合致した二次交通のありかたの調査
- 既存資源（観光MaaSアプリやシェアサイクルなど）の効果的な活用方法の検討



【ウォーキング】

- ウォーキングに特化した町の観光・ヘルスケアプロモーション
- 町のウォーキングの魅力発掘



例えば…

【二次交通】

- 電動キックボードの普及促進
- 乗り捨て型シェアサイクルの実証運行



【ウォーキング】

- 位置情報等を利用したまち歩きアプリ
- おすすめのウォーキングコースを投稿し、周りにシェアできるSNS



横瀬町が提供できるリソース

①小さい自治体ならではのスピード感

小さい自治体だからこそその意思決定、実行の速さがあります。
スモールスタートからの実証試験に最適です。



②官民連携事業によるノウハウ・横展開

7年目を迎える官民連携プラットフォーム「よこらぼ」で培った民間企業との連携ノウハウや、他の民間企業とのネットワークを活用し、BtoBの広がり
の可能性や、事業の更なるパワーアップが狙えます。

③共通の課題を抱えている自治体への展開

特に二次交通政策は秩父地域の課題です！
本町での取り組みを契機に、近隣自治体への横展開も期待できます。



まとめ

まとめ

横瀬町の想い

町内周遊・移動の利便性やインセンティブの強化

横瀬町が困っていること

町内に点在する(観光)施設・拠点の点を結ぶ、二次交通や仕組みがないこと

企業側に求めること

実現性の高い提案から、実証試験としての挑戦的な取り組みまで、幅広く募集したいです。

本町の課題解決のために「情熱」を持って一緒に取り組んでいただきたい。

横瀬町と共創するメリット

- ・官民連携事業のノウハウの蓄積によるスムーズな連携
- ・他の民間企業とのネットワークの活用
- ・広域連携による自治体間における横展開

参考資料

官民連携の取り組み



- 官民連携プラットフォーム -

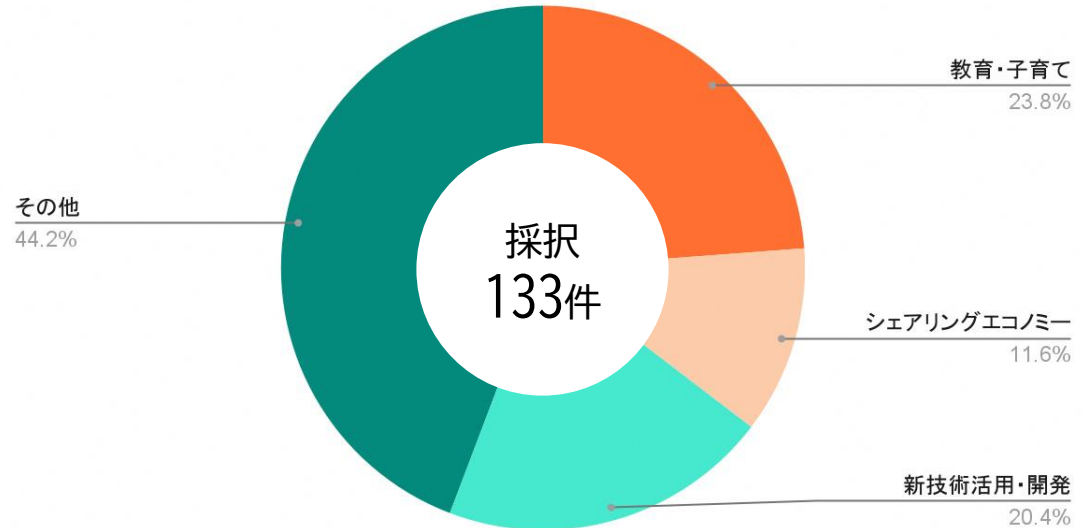
採択実績 (2016/10~2023/7/30)

7年目を迎え130件を超える採択実績

採択 **133**件
1.6件/月

提案 **225**件
2.7件/月

採択事業の分野



総務省「令和4年度ふるさとづくり大賞」優秀賞を受賞



Tips;ふるさとづくり大賞

総務省が実施する、全国各地でそれぞれの「ふるさと」をよりよくしようとする団体、個人を表彰する制度。令和4年度においては、全都道府県から推薦のあった候補の中から25団体と4人が受賞



評価されたポイント

- 日本一チャレンジする町、日本一チャレンジを応援する町というブランディングとビジョンを評価。地方=実証実験地とすることにより、地方が先進地化、地方性を価値化している。
- 小さな町だからこそできる地域住民を中心とした地域づくり。行政がスピード感をもってサポートし、民間が主体となることで継続的な取り組みとなる。
- 町の規模にしては、発展性が幅広く、創造力豊富な取り組みである。町のさまざまな面の活性化につながる。

今後、新たな事業が増えてくるのが**楽しみ**である

日本一歩きたくなる町プロジェクトについて

【概要】 横瀬町が「日本一歩きたくなる町」を目指す取組み。（令和3年度～）
ウォーキングコースの整備や、既存コースの魅力向上の他、それらを活用したウォーキングイベントなどを数多く実施。

【趣旨】 Withコロナでの健康の在り方、観光誘客の在り方の一つとして、ウォーキングの重要性を再認知することとなり、横瀬町の都心から近い里山としての立地や、自然景観の利点を活かすことで、町の魅力向上を図る。

【目的】

- ①地域住民の健康づくり
- ②町の利点を活かしたニューノーマルな観光誘客
- ③人と人の交流の推進(人の輪づくり)

⇒移住・定住希望者の獲得



【後援等】 日本ウォーキング協会/西武鉄道/秩父鉄道/武蔵野銀行/立教大学/横瀬町観光協会 等